

ページ		誤	正
5	3 適用手順 マスターサーバ・スレーブサーバへのQAW Ver.2.7 SP2適用手順	リード文の後	<p>1番目の注意事項として下記の追加をお願いいたします。</p> <p>注意 手動で書きが必要なファイル</p> <p>→ QNDサーバをバージョンアップするには、バージョンアップを行う前に次のファイルを別の場にコピーしておき、バージョンアップ後に元の場所に戻してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ %QND%\bin%\Rulea7.csv</li> <li>・ %QND%\etc%\multicast.ini</li> <li>・ %QND%\QNDPlus%\QIV%\QIVSRV.CONF</li> <li>・ %WinDir%\QAW\Launcher.INI</li> </ul>
5	3 適用手順 マスターサーバ・スレーブサーバへのQAW Ver.2.7 SP2適用手順	リード文の後	<p>2番目の注意事項として下記の追加をお願いいたします。</p> <p>注意 インストール先ディレクトリの統一</p> <p>→ バージョンアップ時に、インストール先は旧バージョンのインストール先と統一してください。</p> <p>QAW Ver.2.2以降のバージョンアップ時には、アンインストールを促すダイアログが表示される手順がありますが、アンインストールを実行しても旧バージョンQAWのデータは失われません。手順に従ってバージョンアップを終了すると、旧バージョンQAWデータを引き続きご使用になれます。</p>
6	クライアントへのQAW Ver.2.7 SP2適用手順 注意 クライアントインストーラを利用したインストール	QND サーバとクライアント間の回線が細い場合等にクライアントインストーラを利用してインストールを行います。 弊社WEB サイトよりクライアントインストーラ (Client_SP2.exe)をダウンロードされた場合は、解凍して、解凍指定先の「Client.exe」を起動します。 メール対応QP オプションをインストールする場合は、『QAW Ver.2.7 - 追補マニュアル』「第4章 クライアントインストーラ機能の強化」を参照してください。 その他のオプションをインストールする場合は、『QAW Ver.2.6 導入編』99 ページ「6 クライアントインストーラを利用したインベントリ収集」を参照してください。	<p>QND サーバとクライアント間の回線が細い場合等にクライアントインストーラを利用してインストールを行います。</p> <p>弊社WEB サイトよりクライアントインストーラ (Client_SP2.exe)をダウンロードされた場合は、解凍すると、「QAW Clientinstaller 2.7」フォルダが作成されます。</p> <p>→ クライアントインストーラの利用方法は、『QAW Ver.2.6 導入編』99 ページ「6 クライアントインストーラを利用したインベントリ収集」を参照してください。</p> <p>また、QAW Ver.2.7より「メール対応QP オプション」をクライアントインストーラを利用してインストールできるようになりましたので、こちらは『QAW Ver.2.7 - 追補マニュアル』21ページ「第4章 クライアントインストーラ機能の強化」を参照してください。</p> <p>※上記マニュアルではクライアントインストーラのフォルダ名は「CLIENTINSTALLER」となっており、フォルダ名は異なりますが、内部のファイル構成は同じです。 上記マニュアルを参照する際は、[CLIENTINSTALLER]部分を全て[QAW Clientinstaller 2.7]に読み換えてください。</p>